

「和光3・11を忘れない」NEWS 第3号

発行：2017年10月21日

和光3・11を忘れない実行委員会 事務局（発行責任者：齋藤 090-5793-3800）

9月30日発会式、盛況！



9月30日「発会式」風景

午後2時から発会式。和光市中央公民館の視聴覚室は、約70名で満席。江頭実行委員長挨拶。

次に事務局より「3・11の過去・現在・未来」の話。「震災での死者・行方不明者約1.6万に関連死3.5千が増え続け、3月の住宅補助打ち切りや公営住宅完成などで、全国の避難者数が3未12万から8月8万へ激減。しかし、特に福島帰還解除地域での帰還率は概ね2割以下と低く、一方でプレハブ仮設や借り上げに暮らす避難者も4万弱。一方で原発デブリ取り出し、放射能汚染廃棄物処理遅れ、「復興」は遠い・・・」

そして、いずれも、石巻小中高出身の皆さんからご挨拶。佐々木指揮者「2015年にカンタータ第4楽章をやり、またの機会に感謝」ソプラノ三浦梓さん「石巻出身者として歌えること、光栄」。東京石中会、加藤会長「在京石巻組織が3・11以降次々と生まれ、または活性化。故郷を想い、支援してきた。年末クランクインの石巻のドキュメント映画製作費用募金に協力を。和光3・11へ全面協力する」このあと、石巻好文館同窓会関東支部や女川元気会などからのメッセージが代読されました。

挨拶が続きます。合唱指導佐藤圭さん、ピアノ伴奏、近藤香織さん、ステージマネージャー岩崎大介さん。

それぞれに被災地や支援活動との関わり。

《広告》プログラムにチラシ挟み込み出来るコンサートやイベントなどをお教えてください。

特に、和光・朝霞・志木・新座市、板橋・練馬区、そして東上線、西武池袋線沿線、

挨拶・自己紹介が終わり、DVD鑑賞。最初は2015年第3回和光3・11での「カンタータ～石巻」第4楽章、佐々木指揮者の350人以上の合唱、90人近いオケを鑑賞。

休憩後、今度は、2013年6月石巻での「カンタータ大いなる故郷石巻」演奏会に首都圏から応援に行った約30名のビデオ。新宿に集合、女川や支倉常長出航の公園などを訪問の様子。そして、2013年6月石巻での演奏を第1楽章から第4楽章まで通して上映。それに合わせ、参加者は楽譜を見ながら、佐藤圭合唱指導者の指揮やところどころ、ピアノ伴奏も交え、一緒に歌い、全体の曲の雰囲気を感じました。もう4時半。

ここで、サプライズ。三浦梓さんに一曲ご披露頂きました。プッチーニ、オペラ「ジャンニスキッキ」の「わたしのお父さん」。小柄なのに、圧倒的な声量に参加者は大拍手！！さすが、プロ。

そして「群青」。「まず歌って見ましょう」。初見にしては上出来です。

最後に「フラッシュモブ」予定の第九。会場の方に「暗譜で歌える方は？」と挙手を求めると、7割の方。一斉に楽譜無しで、主題を歌いました。ファラッシュモブも心配なさそうです。午後5時終了しました。